

第4学年2組 国語科学習指導案

日 時 平成30年11月2日(金) 5校時
 対 象 4年2組29名(男子15名 女子14名)
 指 導 者 教諭 福崎 祥子

1 単元名『「不思議図かん」を作ろう』 (教育出版 小学校国語 4年下)

2 単元の目標と評価規準

- 紹介する対象を意欲的に探し、不思議図鑑を作成することに興味をもっている。
(関心・意欲・態度)
- 「不思議図かん」を作る上で必要な事柄を、本やインターネットを用いて意欲的に調べようとしている。
(関心・意欲・態度)
- 図鑑の「中」の部分では、詳しく紹介したいものの中心を明確にし、事例を挙げて説明しながら書くことができる。
(書くこと ウ)
- 作成した図鑑を読み合い、書き手の伝えたいことや表現の仕方の工夫について意見交換をする活動を通して、よりよい表現に書き直すことができる。
(書くこと オ・カ)
- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (ア))

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 不思議図鑑を作成することに関心を持ち、紹介する対象を意欲的に探すことができる。 ・ 「不思議図かん」を作る上で必要な事柄を、本やインターネットを用いて意欲的に調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑の「中」の部分では、詳しく紹介したいものの中心を明確にし、事例を挙げながら説明することができる。 (ウ) ・ 作成した図鑑を読み合い、書き手の伝えたいことや表現の仕方の工夫について意見交換をする活動を通して、よりよい表現に書き直すことができる。 (オ・カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 (イ (ア))

3 単元について

(1) 学習指導要領との関連

本単元は、現行学習指導要領第3学年及び第4学年の目標と内容を受けて設定した。

目標

【B 書くこと】

(2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。

内容

(1) 書くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。

- ① 指導事項 ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。
- ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例

を挙げて書くこと。

オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。

カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

② 言語活動例 ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。

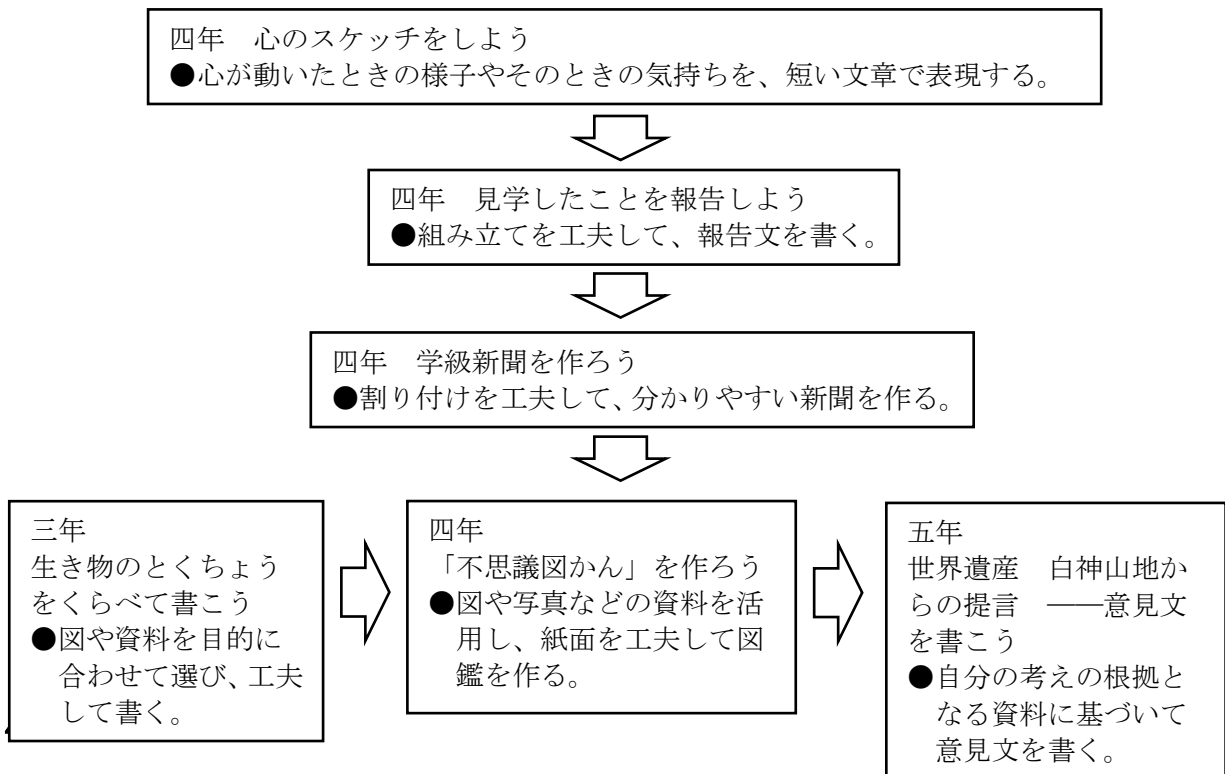
(2) 教材の特色

近年のインターネットの普及により、大量の情報を素早く収集することができるようになった。一方で、情報過多の環境を作りだし、情報を集めたことに満足してしまったり、集めた情報をまとめきれなかったりなど、情報を活用する力を身に付けるところまで至らない状況を生み出している。

そこで、本単元では、限られた紙面の中にどのような資料や情報を入れていくのかを吟味させながら、効果的な表現について考えさせていく。その際、資料から読み取った言葉を、読み手に伝わるように分かりやすい言葉に言い換えることも意識させ、児童の語彙力向上を図っていきたい。

図鑑には、見てほしいものの全体がはっきりと分かる写真、特に見てほしい部分の拡大写真、紹介したいものがある場所の地図等が用いられている。文章の工夫では、相手が読みたくなるような書き出しや一言メッセージ、調べて得た情報の活用の仕方が示され、相手を意識しながら自分の伝えたいことを明確に書く上で適した教材であると言える。

(3) 単元の系統性



4 児童について

(1) 日常の様子より

本学級の児童は、どの教科も進んで学習に取り組んでおり、友達と話し合いながら課題を解決することを楽しんでいる姿が見られる。友達の発表に対しては、相手に体を向け、目と耳と心で話を聞いたり、友達の考えを自分の言葉でもう一度復唱したりするようにさせてい

る。国語科の学習を楽しんでいる児童も多く、進んで自分の考えを発表したり、分かったことを自分なりにまとめたりしている。一方で、国語科に対して苦手意識をもっている児童もいる。自分の考えや調べて分かったことをまとめて文章にしたり、長い文章を読んだり書いたりすることに抵抗があるためと考えられる。

(2) 意識調査の結果から ◎とてもそう思う ○そう思う △そう思わない

質問	◎	○	△
1 国語科の学習（話す・聞く・読む・書く）が好きである。	10人	14人	5人
2 国語科の学習（話す・聞く・読む・書く）が得意だ。	7人	8人	14人
3 作文・リーフレット作り・報告文などの書く学習が好きだ。	18人	6人	5人
4 自分の考えを書くことができる。	17人	10人	2人
5 分かったことや調べたことをまとめて書くことができる。	12人	14人	3人
6 思考ツール（「Xチャート」や「フィッシュボーン」など）を使うと、言いたいことを整理して発表しやすい。	20人	8人	1人
理由 ◎・キーワードをまとめて整理できるから。 ・書くことが整理されて見やすいから。 ・書く内容が分けられていて混乱しにくいから。 ○・教材による。（体験したことや感じたことを書くのはいいが、作文の組み立ては苦手。） △・何を書くかよいか分からない。			
7 投影機やタブレットなどの ICT を使った授業は分かりやすい。	24人	5人	0人
8 投影機やタブレットなどの ICT を使った授業は楽しい。	20人	9人	0人
9 友達といっしょに調べたり、アドバイスをし合ったりすることが好きだ。	14人	10人	5人

(考察)

本学級の児童は、国語科を好み、自分の考えや分かったこと、調べたことを書く学習ができると感じる児童が多い。思考ツールを用いた学習については、多くの児童が言いたいことを整理して発表しやすいと感じている。また、ICT 機器を活用することで、分かりやすく楽しいと感じている児童も多い。目に見える情報が効果的であることから、写真等の視覚情報を活用し、思考ツールでの整理の際に生かしていきたい。

5 指導にあたって

(1) これまでの実践より

① 「書くこと」に関わる学習について

始め・中・終わりに書くべき内容を確認してから書いたり、中心となる内容を書いた後に具体例や理由を述べたりすることが大切であることを指導してきた。

「見学したことを報告しよう」では、社会科見学で学んだことのメモやパンフレット、社会科での学習をもとにして報告文を書く学習をした。報告文という長い文章を書くことに最初から抵抗がある児童が多かったが、見学したことや調べたことを組み立て表に箇条書きでまとめたことで、多くの児童が自信をもって本文を書くことができていた。しかし、

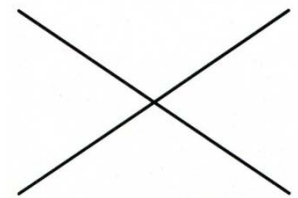
組み立て表に書く情報量が多くなってしまい、中心となる内容が分からなくなってしまう児童もいたことから、情報選択能力がまだ十分とは言えない。

「学級新聞を作ろう」では、自分が記事にしたいことについて、本やインターネットで調べ、写真の割り付けを考えて新聞を書く学習を行った。調べたことを組み立てメモにまとめたことで、書きたいことを整理しながら書くことができた。

② 思考ツールを活用した授業について

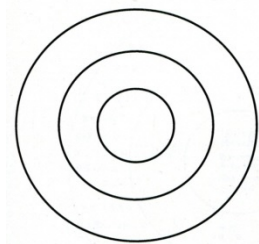
・国語科「写真をもとに伝えよう」(Xチャート)

写真を見て感じたことを発表する学習を行った。分かったことや想像したことなど、あらかじめ視点を与え書かせたことで、多くの児童が自分の考えを整理しながらまとめることができていた。



・社会科「身の回りの水」(同心円チャート)

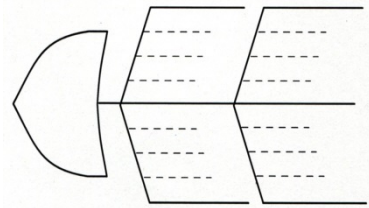
家・学校・地域と範囲を広げて水がどのような場面で使用されているのかを考えた。児童も社会の広がりイメージしやすく、様々な場面で水が利用されており必要不可欠なものであることを理解することができた。



・社会科「ゴミを減らすためにできること」

(フィッシュボーン)

4つの視点をもとに、ゴミを減らすためにできることを考えるという課題を設定した。これまでの生活体験から分かることや学習したことを分類・整理し、今後の家庭生活で取り組むことができそうなことを考えた。自分の考えがどの視点に合うものなのかを整理することができていた。



③ ICTを活用した授業について

・プロジェクターと実物投影機の利点

- ア 注目する部分や解説をする部分のみを拡大し、素早く指し示すことができる。
- イ 拡大した資料や作品に情報を書き込むことができる。
- ウ 資料を比較することができる。

・タブレット(授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」)の利点

- ア 情報を集約することができる。(写真やWebでの情報を含む。)
- イ どのタブレットからでも自分のページに入ることができる。
- ウ 学級全体で考えを共有することができる。

どちらも児童が理解を深めるために有効であると考えられる。また、これらの視覚情報は、興味・関心を喚起し、意欲的に取り組むことができるものとして非常に効果的であった。

(2) 研究主題とのかかわり

○ 研究主題

自ら考え、共に学ぶ子どもの育成
～思考ツールを活用した「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善～

○ 研究目標

「自ら考え、共に学ぶ子どもの育成」を目指し、思考ツールを活用した「主体的・対話的で深い学び」につながる授業改善に取り組んでいく。特に、「対話的な学び」を取り入れた授業作りのために、思考ツール及びICTを活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業の在り方を授業実践を通して明らかにする。

○ 研究仮説

- ① 思考ツールを活用することにより、児童が考える際の手助けとなったり考えを補うための道具となったり、児童の考えが多面的な考えに結び付くだろう。
- ② 思考ツールの活用を積み重ねることにより、「広げる・深める・関連付ける」など、膨らんだ思考が自分に蓄積され、児童は自信をもって表現できるであろう。

○ 研究内容

① 主体的な学び

主体的な学びを目指すために以下の手立てをとる。

一つ目は、単元計画の工夫である。本単元では、身近にある不思議に目を向けて図鑑を作成する課題を設定する。学校の周りにある植物や二宮金次郎像等の児童にとって親しみやすい素材を選択させ、実際に見たり触ったり、本やインターネットで調べたりすることで、意欲が喚起され、主体的に学習に取り組むことができると考える。

二つ目は、見通しがもてる学習活動の工夫である。まず、学校のさくらの例をもとに、図鑑の内容や作り方の手順をおさえる。次に、始め・中・終わりに書くべきことに触れ、「Xチャート」を使って構成していくことを伝える。文章を明確にするためには中心となることをはっきりと記述したり、必要に応じて事例や理由を挙げたりして説明することが大切であることを示す。このように、学習の流れを明確にすることで、児童が見通しをもって学習に取り組むことができるようにしていきたい。

② 対話的な学び

対話的な学びを通して、自分の考えを広げ、表現力を深めることができるよう、以下のような場面を設定する。

一つ目に、図鑑に載せるものの特徴を、実際にその場所に行ってグループで調べる活動を設定する。ここでは、協力して大きさを測ったり、形や色を確認し合ったりする活動を行う。対話をしながら協働的な活動を行うことで、意欲的に次の学習に取り組むことができるのではないかと考える。

二つ目に、組み立て表「Xチャート」を読み合い、良い点を伝えたり、アドバイスをし合ったりする活動を設定する。いっしょに調べた友達同士で、よりよい内容になるよう吟味させていきたい。最後には、それぞれの図鑑を持ち寄り、伝えたいことがよく分かるかを振り返らせたい。

③ 深い学び

児童は、図鑑を作るに当たって、実物を見たり触ったり、本やインターネットなどを使ったりして情報を集める。そのため、どの情報を使ったり、組み合わせたりするとよいのかを考えることが難しいと思われる。

そこで、本時では、様々な方法で調査したことを、組み立て表を用いてまとめていく学習を行う。組み立て表にはXチャートを使い、4つの視点をもとに情報をまとめていく。視点ごとに情報を整理することで、必要な情報だけを自ら取捨選択し、自分の考えとしてまとめることができるようにしていきたい。

○ 目指す子どもの姿

- ・身の回りの不思議に関心を持ち、紹介する対象を探し、図鑑を作る上で必要な事柄を意欲的に調べようとする子ども
- ・調べたことを、思考ツールを用いて整理し、効果的な表現について考えることが

できる子ども
 ・友達同士で作成した図鑑を読み合う活動を通して、よりよい図鑑になるように互いに学び合っていく子ども

(3) 授業の視点

① 主体的な学び

ア 児童が自ら集めた情報を用いることで、組み立て表「Xチャート」を書きながら、情報を意欲的に整理することができる考える。

② 対話的な学び

ア 作った組み立て表「Xチャート」について友達同士で話し合わせることで、伝えたいことをより明確にできると考える。

③ 深い学び

ア 思考ツールを用いて、集めた情報を視点ごとに整理することで、必要な情報だけを自ら取捨選択できるのではないかと考える。

イ 再度考えを整理する時間を設定することで、友達の考えを踏まえ、自分の思いや考えを確かなものにすることができるのではないかと考える。

○ 提案事項

① 組み立て表「Xチャート」を活用して話し合うことで、自分の考えを整理したり、広げたりすることに役立つのではないかと考える。
 (対話的な学び)

② 友達と話し合った後で、再度考えを整理する時間を設けることで、自分の思いや考えを確かなものにすることができるのではないかと考える。
 (深い学び)

6 指導・評価計画案(10時間)

次	時	○学習内容	[評価規準]・(評価方法)
一	1	○「不思議図かん」の内容や作り方を知り、単元の見通しをもつ。	・不思議図鑑を作成すること関心をもち、作り方の手順を理解している。 [国語への関心・意欲・態度](発言)
二	2	○身の回りの不思議を探し、何を図かんにしたいのか、特に紹介したいこと(詳しく調べたいこと)はどんなことを考える。 ○調べる方法を考える。 ・実物を見たり触ったり、写真に記録したりする。 ・本を見て、紹介したいものの写真を撮り、ロイロノートに保存する。 ・インターネットで検索した必要な部分をロイロノートに保存する。	・身の回りの不思議について目を向け、図鑑にのせたいものや詳しく調べたいことについて意欲的に考えている。 [国語への関心・意欲・態度](発言)

	3 ・ 4	○実物を実際に見たり触ったり、本やインターネットで調べたりしながら、図鑑に載せるものの情報収集をする。	・実物を見たり触ったり、本やインターネットで調べる活動を通して、紹介したいものの特徴や、特に教えた秘密に関する情報を進んで集めている。 〔国語への関心・意欲・態度〕 (情報を集める様子・タブレット)
	5 本 時	○組み立て表「Xチャート」を書きながら、集めた情報を整理する。 ①書き出し ②しょうかい ③教えたひみつ ④一言メッセージ	・4つの視点をもとに組み立て表「Xチャート」を書きながら、集めた情報を整理することができる。 〔書く能力〕(ワークシート)
	6 ・ 7 ・ 8	○組み立て表「Xチャート」の順番に沿って、箇条書きにしたものを文章にして原稿を書く。 ○友達同士で作成した図鑑を読み合い、良い点を伝えたり、アドバイスをしたりする。	・資料を効果的に使いながら、伝えたいことをはっきりさせて原稿を書いている。 〔書く能力〕(ワークシート)
三	9 ・ 10	○作った図鑑を読み合い、書き手の意図が効果的に表現されているか話し合う。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 〔言語についての知識・理解・技能〕 (交流や発表の様子・ワークシート)

7 本時の学習 (5 / 10)

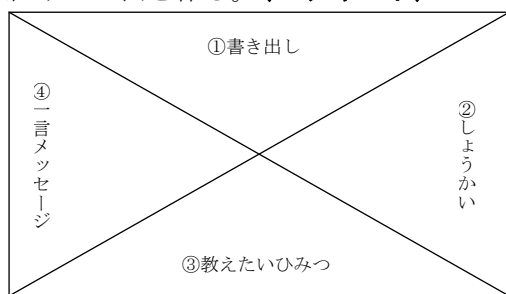
(1) 目標

組み立て表「Xチャート」を書きながら、集めた情報を整理することができる。

(2) 展開

学習活動 (思考ツール)	・指導上の留意点 ◆評価 ☆支援 【視点】
1 本時の学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた資料を用いて組み立て表「Xチャート」を作ることを知らせ、学習の見通しをもたせる。 ・短い言葉で箇条書きにさせていく。 ・組み立て表「Xチャート」はどこから書いても良いことや、番号順に文章にしていくと原稿になることを確認する。
2 学習課題をつかむ。 ④ Xチャートを書いて、調べたことを四つに整理しよう。	
3 組み立て表「Xチャート」の書き方を確認する。 ★題名…読みたくなるような工夫 ①書き出し…問いかけ、クイズ ②しょうかい…大きさ、色、形、場所など ③教えたひみつ…一つについて詳しく ④一言メッセージ…～は知っていましたか～してみてください	

4 組み立て表を作る。(Xチャート)



- ・ロイロノートに保存した資料を見て、分かったこと（特徴やより詳しく知らせたいこと）などを組み立て表「Xチャート」にまとめていく。

5 組み立て表「Xチャート」を読み合い、交流しながら情報を整理する。

- ・○○はどういう意味なの。
 - ・○○と△△はどっちが必要だと思う。
 - ・この説明はなくても分かって分かるよ。
 - ・理由も入れてみるといいと思うよ。
 - ・この言葉を簡単にすると、もっと分かりやすいね。
- 《提案事項①》

6 自分の組み立て表「Xチャート」を見直す。

- ・○○さんが言っていた方が分かりやすいな。
- ・△△だけにしてみようかな。
- ・ここはこのままでよさそうだ。

《提案事項②》

7 本時の学習のふり返しをする。

- ・最初は○○と書いていたけれど、△△さんのアドバイスのおかげで、理由を付けて詳しくすることができました。
- ・メモが長かったけれど、一番大事なところだけを残すことができました。

- ・前時までの学習を振り返らせたり、掲示物を参考にしたりさせる。
- ・まとめ終わった児童には組み立て表「Xチャート」の見直しをさせる。

- ・3人グループで活動させる。
- ・分からないことやもっと聞いてみたいことなどを互いに質問し、内容を確認させる。
- ・友達のアドバイスを受けたら、赤ペンで情報を整理させる。

- ・読み合い、交流したことをもとに、青ペンで書き直したりつけ加えたりする。
- ☆見直しに悩んでいる児童には、どのような質問をされたのかを思い出させ、書き加えさせる。

- ◆4つの視点をもとに組み立て表「Xチャート」を書きながら、集めた情報を整理することができる。

〔書く能力〕(ワークシート)

【互いの考えを述べる、比較する】

【自分の思いや考えと結びつける】

- ・電子黒板に組み立て表「Xチャート」を映し、話し合いや見直しでの内容の変化についてふり返しをさせる。

(3) 板書計画

①書き出し

- ・問いかけ
- ・クイズ

題名 さくらの葉のひみつ

番 名前

①書き出し

- ・葉の形真・・・同の葉でしよう。
- ・ヒント・・・千年小学校にある、
しよく兵庫の橋、校門の近く。

④一言メッセージ

- ・葉が食べられることを知っていた。
- ・さくらもちを作ったり、賞状に記入してほしい。

②しようかい

- ・香・・・ピンクの花、におい。
- ・木の周り・・・約2m90cm、子ども3人ぐらい。
- ・木の高さ・・・約7.8m、
- ・葉について、
だて1.5cm 横7.5cm、
先→とがっている。

③教えたいひみつ さくらの葉 について

③教えたいひみつ

- ・一つについてくわしく書く

④一言メッセージ

・・・は知っていましたか。

〈書き直すときのポイント〉

- 内容が分かるように
- へらす
- かん単にする

②しようかい

- ・大きさ、魚形

④め

Xチャートを書いて、調べたことを四つに整理しよう。

(4) 思考ツール

- ・ Xチャート

